

市町村名	石垣市						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4- 就業支援マッチング事業・人材育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
担当部課名	企画部商工振興課	職業能力の開発					
	事業実施(予定)年度 平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	各分野の既存ストックを活用した職業訓練を実施し就業支援を強化するとともに、工芸産業の技術者を育成する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	39,990				
		(b)予算現額	35,056				
		(c)増減額(b-a)	4,934	0			
		(d)繰越額	-	20,751			
		A.計(b+d)	35,056	20,751			
	B.執行済額		14,305	19,117			
	うち交付金充当額		11,444	15,293			
	次年度繰越額		20,751	0			
	執行率(%) (B/A)		40.8%	92.1%			
予算の状況の説明		関係機関との調整等に時間を要したため、繰越事業となった。4,934千円の減額については繰越する段階で不用が見込まれたため決算処理において減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度(4-)	26年度(4-)	27年度(4-)	
	焼き物セミナーの開催	目標	(開催)	()	()	()	
		実績	開催				
	八重山上布技術者講習会の開催	目標	(開催)	()	()	()	
		実績	開催				
	特産品開発セミナーの開催	目標	(開催)	()	()	()	
実績		開催					
達成状況説明	事業者技術向上のためや後継者育成を目的に、焼き物セミナー・八重山上布技術者講習会・特産品開発セミナーを開催した。その他就業支援マッチング事業として、ウェブクリエイター養成研修、ホームページ作成研修、プロダイバー養成研修、ホスピタリティ研修を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度(4-)	26年度(4-)	目標値(27年度)
	焼き物セミナーの開催	目標	(0)	(1回)	()	()	()
		実績		1回			
	八重山上布技術者講習会の開催	目標	(0)	(70回)	()	()	()
		実績		59回			
	特産品開発セミナーの開催	目標	()	(6回)	()	()	()
		実績		5回			
	【参考指標】 やきもの祭り出展事業者数	目標	(0)	(0)	(15)	(17)	(18)
		実績		0	17	17	
	【参考指標】 服地製作技術を習得し製作・販売を行った人数	目標	(0)	(3)	(3)	(3)	(3)
実績			3	3	3		
【参考指標】 セミナー受講後、新商品開発等を行った事業者数	目標	()	(0)	(2)	(2)	(2)	
	実績		0	3	2		
進捗状況説明	焼き物セミナーの開催により、年1回開催されるやきもの祭りへの出展事業者数の増加を目指している。セミナー時期が年度終盤であったため平成24年度はカウントしていないが、平成26年度には17事業者に達し来場者数も増加している。八重山上布技術者講習会により技術を習得した結果、3名が服地を制作し販売までつなげている。平成25年度は小中学生向け講習、平成26年度は一般市民向け苧麻系手績講習を行った。特産品開発セミナーにより参加事業者が新商品発売やパッケージのリニューアルを行っている。セミナー時期が年度終盤であったため平成24年度はカウントしていないが、平成25年度は3事業者、平成26年度も2事業者が行っている。						

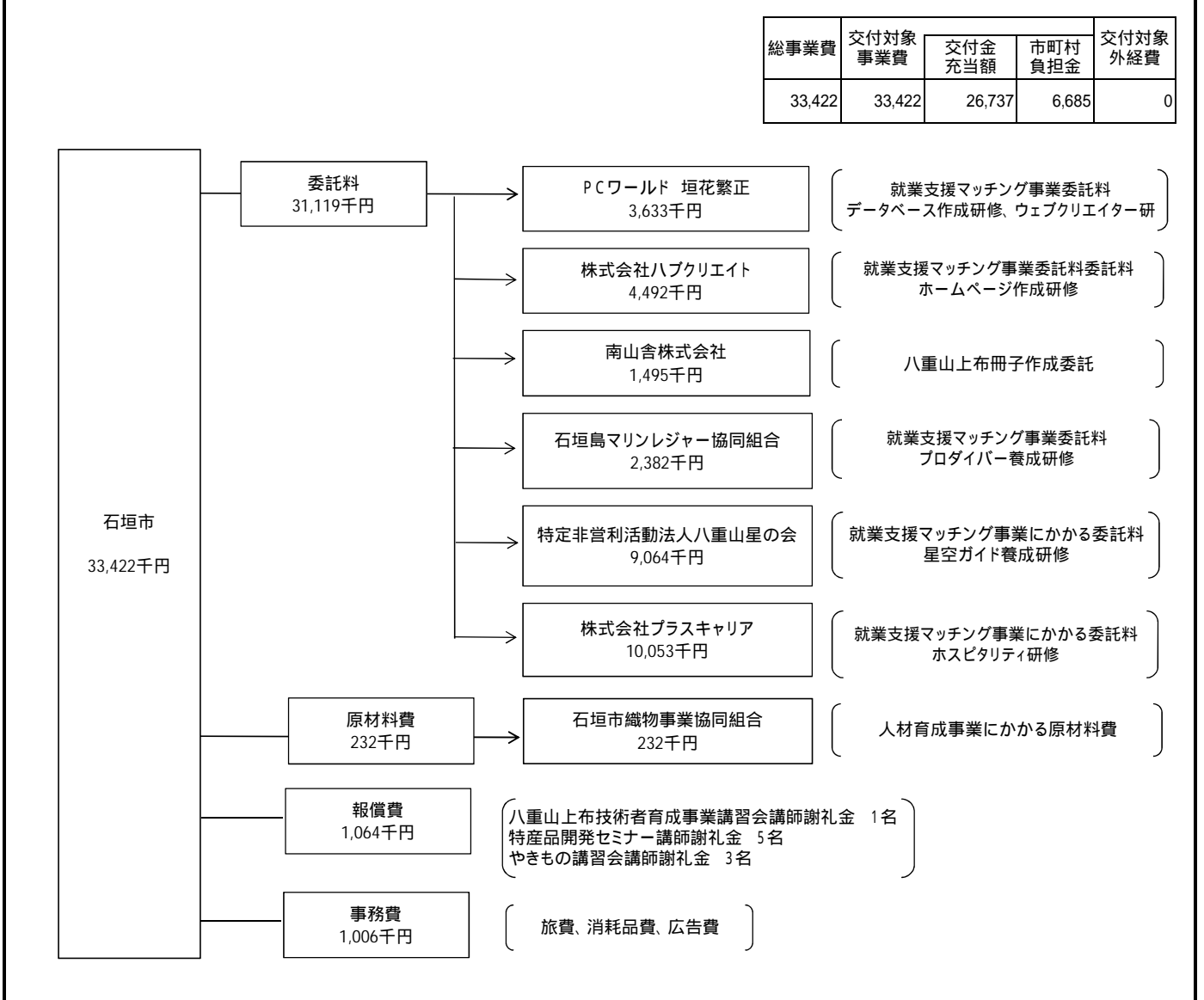
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>「やきもの技術者育成事業」は、平成25年度も引き続き技術向上のための講習を行い、平成26年度には技術向上のセミナーに加え、知見を広げるため他地域の窯元や美術大学、工業技術センターにて研修を行った。</p> <p>現在事業者間の技術にばらつきがあり、石垣島の優良な坯土を使用したやきものを名産に押し上げるために、技術のボトムアップが必要である。</p> <p>「八重山上布」については3名の受講生が染め、織り、等一連のプロセスの手ほどきを受け最終的には服地の完成及び販売にこぎつけることができた。平成25年度は底辺拡大のための小中学生向け講習、平成26年度には技術者確保のための苧麻糸手績講習を実施したが、慢性的な人材不足が深刻な課題である。</p> <p>「特産品」については、平成25年度は、本市の亜熱帯気候を利用した発酵分野についてのセミナーを行った。平成26年度は発酵分野に加え、海外への展開に関する事項を中心にセミナーを実施した。民間事業者が独自で商品開発できる知識や技術を身に付けてもらえるよう継続的な実施が必要である。</p>	<p>「やきもの技術者育成事業」については、これまでのような一律に行うセミナーに加えてレベル別講習の実施などを検討していきたい。</p> <p>「八重山上布」については、若年層向けの周知活動、テーマを絞ったセミナーによる技術者の確保が必要となるため、継続的に実施していく。技術者の不足は原材料の不足に直結するため、平成26年度以降は上布の原材料となる苧麻糸の手績講習会を実施したい。</p> <p>「特産品」については、民間事業者が独自で商品開発できるよう知識や技術を身に付けるためのセミナーを実施しており継続した実施が必要であるが、平成27年度以降は、島の農水産物を使用した特産品開発も並行して実施していきたい。</p>

今後の取り組み方針

平成27年度からは「ものづくり・マーケティング事業」のなかで人材育成事業を行い、各分野の底辺拡大や産業従事者の増加、新商品開発に関する支援を行ってきたい。

特に特産品に関してはこれまでの人材育成に加えて、島産パインアップルの一次加工品(ペースト)の開発を実施し、その販路開拓と共にパインアップルのブランディングを推進していきたい。また、石垣島の温暖な亜熱帯気候にマッチした発酵技術を活用した新特産品(酢や醤油などの調味料)の開発にも力を入れていく。第一弾としては、黒麹菌を活用した商品を想定している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	就業支援マッチング事業はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託相手の選定については「随意契約」及び「公募型」を採用したが、業務の性格と内容に照らし妥当であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	実施事業の予算は積算又は見積により算定され妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	出展事業における各事業者の総事業費に対する助成率は10%台から48%であり、利益額成にもつながらないため、助成の有り方としては適正な支出であった。事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、適当な支出であった。